

Strawberry Kingdom 栃木 いちご王国

いちごの生産量「50年連続日本一」の栃木県。
これを記念して、先日1月15日には「いちご王国・栃木の日」が宣言され、同日から2月14日まで、県内各地でいちごをPRする様々なイベントが行われています。生産量全国第5位(県内第2位)の栃木市でも、様々なかたちでいちごを楽しむことができます。

花と苺の inとちぎ フェスティバル 花センター



これまで県内各地で行われていた「とちぎ花フェスタ」が、いちごを加えて模様替え。県内で生産された花々が大集し、とちぎ花センターを彩ります。「フラワーバレンタイン」と「いちご」をテーマにしたフラワーディスプレイや、新鮮ないちご・いちごのスイーツの販売も。その他、県内最大規模の県産花きの品評会、切り花や鉢花の販売、寄せ植え体験教室など。

- ◆日時◆ 2月10日(土)・11日(日)10時~16時
- ◆場所◆ とちぎ花センター(岩舟町下津原) ◆入場◆ 無料
- ◆問合せ◆ 花と苺のフェスティバル実行委員会(栃木県農政部生産振興課内) ☎028(623)2329



写真はイメージです

観光いちご園 思う存分いちご狩り

県内各地の観光いちご園で、とちおとめをはじめいちご狩りなどが楽しめます。5月15日(火)まで、県内観光いちご園を巡るスタンプラリーも行われています。



 いわふねフルーツパーク 



 観光農園「アグリ」の郷 

市内の
スタンプラリー
参加いちご園

「とちおとめ」や「スカイベリー」など、旬のいちごが30分間食べ放題! 同施設内「花野果ひろば」では、農産物の直売のほか、季節限定「フレッシュ生いちごミルクゼラート」や、いちごのスイーツも。



※写真は開発中のものです

- ◆期間◆ 12月上旬から5月中旬まで
- ◆2月の料金(※要予約)◆
とちおとめ/小学生以上1,600円、幼児800円
スカイベリー/小学生以上2,000円、幼児1,000円
- ◆予約・問合せ◆ いわふねフルーツパーク(岩舟町下津原) ☎(55) 5008
- ◆いちご狩り案内時間◆
10時、11時、13時、14時、15時
- ◆休園日◆ 毎週月曜(祝日は営業)

いちご狩りでしか味わえない甘くてジューシーな「とちひめ」や、「とちおとめ」が30分間食べ放題! 併設の農産物直売所(9時~15時、月・木曜日定休)での買い物や、農産物加工所での手作りみその体験学習(要問い合わせ)も。

- ◆期間◆ 12月上旬から5月上旬まで
- ◆2月の料金◆
とちおとめ(予約不要)/大人1,400円、小学生1,000円、3~5歳700円
とちひめ(要予約)/大人1,500円、小学生1,100円、3~5歳800円
- ◆予約・問合せ◆
農事組合法人 アグリテック栃木(大塚町) ☎(27) 0882



いちごジャムの販売も



とちおとめと
クリームチーズのカナッペ

- 市販のクラッカーに、クリームチーズをまんべんなく塗ります。
 - 縦に2~3等分にしたとちおとめをのせて盛りつけます。
- ※そのまま食べても十分美味しいのですが、はちみつを少しかけるとより風味が増します。また、はちみつに加え、お好みでクリームチーズに黒コショウを振ると、少し大人の味に。



とちおとめとベビーリーフのサラダ

- ドレッシングを作ります(2~3人分の分量)。小さな容器に、オリーブオイル大さじ2、白ワインビネガー大さじ4、塩少々、こしょう少々、砂糖またははちみつ少々を入れ、よく混ぜ合わせます。
- サラダ菜やレタス、ベビーリーフと共に、4分の1のくし切りにしたとちおとめを盛りつけます。お好みで、ピオラやニオイミレなどの食用すみれを飾ると彩り豊かに。ドレッシングは食べる直前にかけていただきます。

そのまま食べても十分美味しい栃木のいちごを使って、少しアレンジ。甘味と酸味のバランスの取れたとちおとめを使った、かんたんレシピを紹介します。

こんな楽しみ方も